

# 永野小学校・学校だより(4月)

## 宝物にさらなる輝きを

校長 小泉 啓治

卒業式には咲いてしまうのではと思われた桜ですが、思わぬ寒さのおかげで入学式までもちました。やはり、入学式には桜が似合います。126名の新入生を迎えて、平成19年度の永野小学校がスタートいたしました。今年度も昨年にならぬご支援とご協力をお願いいたします。

さて、昨年は副校長として仕事をさせていただきましたが、この度立場が変わり、校長として勤務することになりました。よろしくお願いいたします。

115年に及ぶ長い歴史をもつ永野小学校には、市内のどの学校にもない、地域と学校とのすばらしい結びつきがあります。それはこれまでの長い歴史の中で育まれた本校の宝物と言えます。また、840人近くがいても朝会や避難訓練の時の静粛に話が聞ける子どもたちの態度、特別クラブの場等で、めあてをもって学習や練習に取り組む子どもたちの姿なども学校の大切な宝物です。昨年はマーチングの関東大会出場、国際女子駅伝サブイベントミニ駅伝大会2位等の輝かしい成果を上げることができました。

3月の卒業式で、6年生が歌った『ひろい世界へ』の中に右のような歌詞がありました。学校の宝物、そして一人ひとり子どもたちの中にあるさまざまな宝物、それを今年度もさらに磨き、輝きを増すよう、職員一同力を合わせて頑張っていく所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。

ぼくらのまえには ドアがある  
いろんなドアが いつもある  
ドアを大きく あけはなそう  
ひろい世界へ 出ていこう  
ドアのむこうの 輝きを  
自分のものに するために